

# 全調政連 ニュース No. 2021-1

R3. 1. 18

発行責任者 幹事長 佐々木 健

## 全国土地家屋調査士政治連盟会長会議

日 時 令和2年10月27日(火) 9:30～

場 所 都市センターホテル



椎名会長



阿部副会長

馬場副会長の司会進行で開催されました

- 1、椎名会長挨拶
- 2、『入札区分に「登記関連業務等」を設ける活動について』 阿部次雄委員長
- 3、『基調講演 今後の土地家屋調査士に期待するもの』  
前法務副大臣 衆議院法務委員長 義家 弘介 氏
- 4、『活動方針について』 椎名 勤会長
- 5、閉会挨拶 佐々木 健幹事長

片山さつき参議院議員が急遽かけつけて下さいました。

本年二月に国の公共調達にかかる入札業種区分の役務の提供分野に「登記業務等」の区分が設けられ、土地家屋調査士、司法書士が初めて公共調達の受け皿として公に認められることになりました。

つきましては、各調政連におかれましても土地家屋調査士会と連携の下に地元の道府県に働きかけ、道府県の入札業種区分に「登記業務等」の区分が設けられますようご尽力お願い致します。

既に東京都、大阪府、神奈川県、千葉県においては「土地家屋調査業務」の形で区分が設けられております。

(R. 2. 4. 6 全調政連発第 46 号の一部抜粋)

当日発言がありましたように、徳島県も同様の区分がなされています。

各道府県において「登記業務等」の業種区分が設けられれば、関連業種との共存共栄を図りつつ登記業務の分離発注の道を模索したいと考えます。

## 片山さつき参議院議員（全国比例）挨拶

- ・コロナ禍における財政政策と土地家屋調査士
- ・第三次補正予算に関して
- ・生産緑地 2025 問題に関して
- ・基調講演として、義家弘介衆議院法務委員長（神奈川 16 区）に登壇して頂きました。
- ・教育者から国会議員を目指した理由
- ・文部科学副大臣の経験
- ・法務副大臣として、法務行政に携わってみて感じたこと。矛盾に感じたこと。
- ・引き続き衆議院法務委員長に就任しての抱負
- ・土地家屋調査士との不思議なご縁
- ・実際に個人として議員として体験した境界問題、狭隘道路問題、所有者不明土地問題
- ・土地家屋調査士法改正と規則改正問題
- ・土地家屋調査士に期待すること

## 会場からの質問事項

- ・民法 177 条と境界確定について
- ・固定資産税情報を土地家屋調査士に公開する可能性について
- ・外国人外国法人が不動産を所有する問題に関して

どの話も、聴き入る内容でしかも土地家屋調査士のことを本当に良く理解していただいていることがわかる内容でした。また、参加者からの鋭い質疑応答にも丁寧に回答されました。



義家衆議院法務委員長



片山さつき参議院議員

文:副幹事長 上田 尚彦